

【試合結果】

男子 決勝トーナメント		決勝																
日時	平成28年12月25日(日)	13:00	~ 14:10															
会場	深川市総合体育館																	
結果	北見北	<table border="0"> <tr><td>10</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>—</td><td>11</td></tr> <tr><td>10</td><td>—</td><td>15</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>8</td></tr> <tr><td colspan="3">OT</td></tr> </table>	10	—	10	11	—	11	10	—	15	14	—	8	OT			旭川緑が丘
10	—	10																
11	—	11																
10	—	15																
14	—	8																
OT																		
審判	主審 田中 充	副審	水嶋 星陽															

第31回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

北見北		(北見)地区						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	宮村 詩恩	×	8	1	2	1	4	2
5	吉野 涼	×	15	2	3	1	5	3
6	山田 陽大	×	4		2		2	3
7	元村 峻太	×	4		2		1	3
8	越田 大翔	×	14	1	4	3	20	3
9	鴨田 悠作	/						4
10	川辺 柊	DNP						
11	浜口 大空	/					1	
12	細川 優斗	DNP						
13	鎌田 隆盛	DNP						
14	藤井 琉空	DNP						
15	山腰 巧斗	DNP						
16	東海林 介稔	DNP						
17	田中 海聖	DNP						
18	加藤 颯	DNP						
HC	大浦 幸一							
合計			45	4	13	5	33	18

旭川緑が丘		(旭川)地区						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	前野 和敬	×	14	1	4	3		1
5	高島 祥汰	×	5		1	3	9	1
6	鹿又 允綺	×	2		1		3	2
7	蠣崎 将	×	14		4	6	6	1
8	山下 歩輝	DNP						
9	松浦 太陽	×	7		3	1	2	
10	小島 佑馬	DNP						
11	山近 亜門	DNP						
12	相坂 彰人	DNP						
13	齊藤 蒼万	/	2		1		2	
14	及川 隼	DNP						
15	石川 綾信	DNP						
16	茂木 勇哉	DNP						
17	綿谷 怜凪仁	DNP						
18	吉崎 晃生	DNP						
HC	長谷川 猛							
合計			44	1	14	13	22	5

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

決勝戦は北見地区1位北見北と旭川地区1位緑が丘との対戦。北見北#4、5、6、7、8 緑ヶ丘は#4、5、6、7、9で両チームともハーフコートのマンツーマンでスタート。序盤は決勝戦の緊張感からかお互いに重いオフェンスが続き、ロースコアの展開となる。北見北センター#8の3Pが決まると雰囲気は一変し、お互い点取り合いになる。1Qは10-10で終了。2Qも一進一退の攻防が続く。北見北#4の遠目の3Pが決まるなど、アウトサイドシュートが決まりペースをつかむか。しかし緑が丘もディフェンスのプレッシャーを強め、簡単に引き離されない。残り2分#6のドライブで18-17と逆転に成功。残り40秒北見北#5の3Pで再逆転。しかし残り1秒で北見北がファールをしフリースローを与えてしまう。緑が丘#5が落ち着いて2本とも決め、前半21-21で終了。後半3Q緑が丘#5のドライブによる得点で試合が始まる。北見北は緑が丘の激しいディフェンスに苦しみも、#8がリバウンドを頑張りなんとか食らい付いていく。残り4分、北見北速攻から#5がドライブでファールを誘い、フリースローを2本決め27-27の同点に迫っていく。お互いに果敢にゴールにドライブし、激しい攻防が続く。残り1分30秒、緑が丘#4の3Pが決まり、緑が丘34-31。3Qは36-31で緑が丘5点リードで終了。4Qも両チーム果敢に攻めるも、シュートがリングに嫌われなかなか得点が伸びない。しかし残り5分を切り、北見北#7がジャンプシュートを決め39-38と逆転に成功。その後も一進一退の攻防が続く。残り2分30秒で40-41で北見北がリードで緑が丘がタイムアウト。残り1分13秒、緑が丘#7がファールで得たフリースローを2本とも決め44-43と逆転。残り35秒、北見北#5のドライブが決まり44-45と再逆転。すかさず緑が丘がタイムアウト。しかし北見北が逃げ切り勝利を掴む。最後まで目が離せない展開で、決勝戦にふさわしい戦いであった。両チームの健闘を讃えるとともに、決戦大会での活躍も期待したい。